

## バイオサイエンス特別演習 (4単位)

担当者氏名 バイオサイエンス専攻全指導教授

### ◆学習・教育目標

バイオサイエンス専攻は、地球上すべての生物、動物、植物、微生物を対象とし、その複雑で高次な生命現象を、新規の分子生物学的手法を駆使して、個体レベルだけでなく細胞レベル、分子レベルで総合的に解明し、バイオサイエンスとその関連複合領域の学術研究の進展に貢献することを、研究・教育目的としている。本特別演習は、この目標を実現するために各特論で行われた特論・実験を基に、成果を発表するための実際の論文作成や学会発表のための立案・実施・評価についての直接指導を行い、農業、食品、医療などの関連産業の発展に寄与する総合的かつ先進的・高度専門職業人の育成、および生命科学研究分野での研究者養成を目指している。

### ◆取り扱う領域（キーワードで記載）

微生物分子遺伝学      植物細胞工学      植物遺伝工学      動物分子生物学  
動物発生工学      生体機能分子学

### ◆授業の進行等について

	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	各特論における論文・学会発表関連領域の調査。	論文・学会発表にあたり、関連領域の論文を調査する。論文・学会発表モデルになる邦文を選択する。	今までやってきた実験・研究結果を整理する。
2	論文・学会発表の骨格をつくる。	論文・学会発表の骨格になる図表を選択する。	前もって、参考文献を熟読する。
3	結果、考察、背景の内容。	結果、考察、紹介の論旨構成をスケッチしてみる。流れ図、箇条書きでよい。	論旨構成を自分なりにまとめる。
4	書きやすい部分から書いてみる。	論文の場合、図表の説明から、実験方法などの書きやすい部分からまず英文を書いてみる。	使える英文表現をまとめておく。
5	英文と、内容の校正。発表内容の校正。	論旨と英文を校正し、投稿する。発表練習を行い、発表する。	英文法と、辞書をよく引くこと。

### ◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

### ◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

### ◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

実際の発表、論文をもって評価とする。

### ◆その他受講上の注意事項